

UNIVERGE 3C 環境負荷評価

統合コミュニケーションツールやコラボレーション機能をPC、スマートフォン、タブレットなどの多様なデバイスで活用することで、様々な業務シーンにおいて社内外の場所を問わずに業務を行えるシーンを増やします。また、会議ソリューションによって、場所、時間にとらわれず、多地点で資料共有、画面共有、音声・ビデオソリューション会議が可能であり、出張や無駄な移動および出張費用やその準備に伴う工数を削減できるソリューションです。

システム導入前

●海外関係会社との打ち合わせ

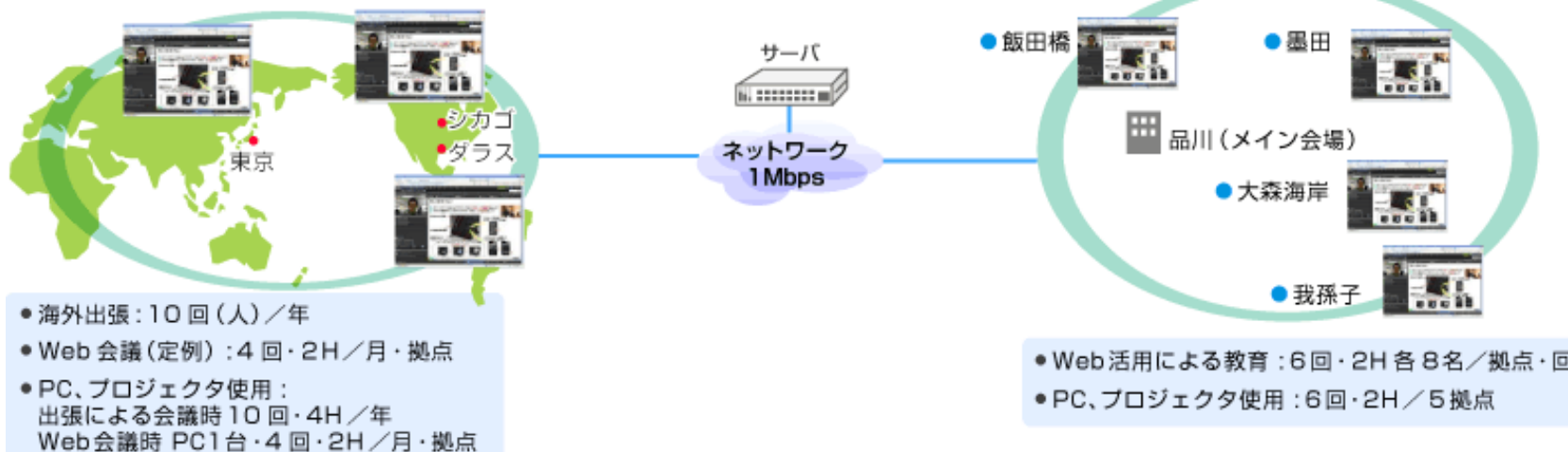


●多拠点での教育（トレーニング）：5拠点



システム導入後

コラボレーション会議（Web会議）により、出張や移動しなくても多拠点との打ち合わせや教育が可能



上記の他に、UNIVERGE 3Cではスマートフォン等の多様なデバイスを活用したモバイルワークやテレワークも可能なため、外出先からの帰社や通勤に伴う移動および工数を削減する効果もあります。

UNIVERGE 3C 環境負荷評価結果

コラボレーション会議(Web会議)によって、出張、外出による移動や紙資料を減らすことができ、CO2排出量を約57%削減

